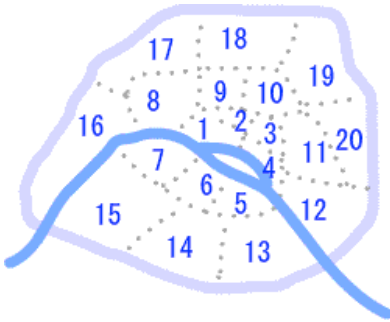


パリというところ



●各区の特徴

- 1 区：ルーブル美術館、パレ・ロワイヤル、チュイルリー公園があるパリの中心。
- 2 区：オペラ座中心に、日本食レストランや免税店が集中。
- 3 区：問屋街と昔のパリの面影が残るエリア。
- 4 区：歴史と新しさが調和したマレ地区。
- 5 区：ソルボンヌ大学がある学生街、カリチェ・ラタン。
- 6 区：おしゃれなパリジャンが集まるサン・ジェルマン・デ・プレ。
- 7 区：エッフェル塔、アンヴァリッドなどの名所と官僚邸が並ぶ高級住宅地。
- 8 区：シャンゼリゼ通りがある最も華やかな一帯。
- 9 区：デパートのプランタンやギャラリー・ラファイエットがある商業地区。
- 10 区：北駅、東駅があり、多様な人種が交錯する地域。
- 11 区：ナイトスポットのあるバステューの一角とレピュブリック周辺。
- 12 区：近代的な開発が進んでいるベルシー地区。
- 13 区：パリのチャイナタウンがある新開発地区。
- 14 区：エコール・ド・パリの画家たちが住んだモンパルナス界隈。
- 15 区：ホテル・ニッコー付近の高層ビルと閑静な住宅街。
- 16 区：観光客で賑わうシャイヨー宮とブルジョワの街パッシーがあるパリ西部。
- 17 区：8 区寄り的高级住宅街と 18 区寄りの庶民的地区。
- 18 区：サクレ・クール寺院のあるモンマルトルの丘。
- 19 区：ラ・ヴィレット科学産業都市と音楽都市シテ・ド・ラ・ミュージック。
- 20 区：パリの下町ベルヴィル。エスニックな雰囲気のある地域。



■地下鉄の乗り方

自分が乗りたい 路線の番号と、どこ方面行きに乗るのか、をチェックしましょう。それさえ押さえれば、あとは表示がしっかりしているので乗るのは簡単です。駅名はフランス語が読めなくても、カタカナ書きにして無理に読み方を覚える必要はありません。現地に行ったらカタカナでは書いてありませんので、記号だと思ってアルファベットを覚えましょう。



メトロの入り口 メトロ改札。出るときには、改札はありません。自分の乗りたいメトロ確認。



この看板は「メトロ9番線、Mairie de Montreuil方面行き」、を意味します。
(下のSortie は出口の意味)。看板に従って行けば、自然にホームにつきます。



出口

■メトロチケット (2009年7月1日より適用)

料金は距離に関係なく全線均一。何回でも乗換は自由で、バスやトラムにも利用できます。3歳以下の子供は無料、4歳から9歳は大人の半額料金。

チケット 1枚 1.60ユーロ

カルネ(10枚綴り 通常料金) 11.60ユーロ

■ラ・デファンス LA DEFENSE



1958年に始まった副都心開発エリア。未来都市を思わせる芸術的な高層ビル、延長1200mの人工地盤の広場、大型ショッピングセンター、中央歩道を飾る彫刻など、新しい都市計画の成果を見てまわるのに半日は必要。イタリア産大理石による高さ110m、幅106mの新凱旋門は、1989年の革命200年を記念に完成。デンマークの建築家スプレケルセン作。中央の開口部はノートルダム大聖堂がおさまるほどに壮大。2008年4月15日から、館内に新たにMusée de l'informatique (情報館)が開館した。

展望台9月～3月 10:00～19:00

料金一般10ユーロ、学生8.5ユーロ

メトロ

■1号線、RER A線 / GRANDE ARCHE DE LA DEFENSE

■1号線 / ESPLANADE DE LA DEFENSE

■チュイルリー公園 JARDIN DES TUILERIES

チュイルリー公園の土はかつて瓦焼に使われていたので、今でもチュイルリー（瓦製造所）と呼ばれる。16世紀中頃にカトリーヌ・ド・メディシスにより造られたイタリア式庭園を、ヴェルサイユ宮殿の庭園でも知られる造園家、ル・ノートルが17世紀に美しいフランス式庭園に改造した。園内は「モネの睡蓮」で知られるオランジュリー美術館や現代アートのジュー・ド・ポーム美術館がある。夏には遊園地、冬にはスケート場、クリスマスの頃には観覧車が仮設される。オープン時間10月～3月7:30～19:30

メトロ

■1号線 / Tuileries

■パレ・ロワイヤル PALAIS ROYAL

ルイ13世死後、王妃が幼いルイ14世と住むことになり、それ以降パレ・ロワイヤル（王宮）と呼ばれるようになった。現在はフランス文化省が入っていて、建物内部の見学は不可だが、中庭には自由に入ることができ、常に多くの市民が憩う。ギャラリーや骨董品店の並ぶ回廊に囲まれた優雅な雰囲気の中庭や、ビュラン作のモダンアート、白と黒のストライプ模様の円柱260本が置かれた南側の中庭があり、古典と現代が調和が素晴らしい。

メトロ

■1・7号線 Palais Royal Musée du Louvre

■モンパルナス・タワー TOUR MONTPARNASSE

TGVアトランティック線発着駅でもあるモンパルナス駅のすぐ横にそびえる高さ209mの高層ビル。下の階はショッピングセンター。

オープン時間10月～3月日曜～木曜9:30～22:30金・土曜、祝日9:30～23:00

メトロ

■4、6、12、13号線 / MONPARNASSE BIENVENUE

■バスティーユ・オペラ OPERA BASTILLE



地上8階、地下7階、2700席という巨大なオペラ劇場。上流階級の芸術であったオペラを一般大衆にも親しんでもらうように、ミッテラン大統領の提案により、1989年にオープン。舞台装置はすべてコンピューターで管理され、最新の技術と最高の音響設備といわれている。かつては城塞、監獄、そして市民革命というバスティーユの歴史の流れは、現在は広場中央にある自由の天使像に象徴される。

見学は、オペラ座が実施するガイドングツアーに参加しないと見学できないが、実施日、時間などは次の電話で確認する。TEL 01 40 01 19 70。チケットは、実施時間の10分前から売られる。所要時間約1時間15分。チケットセンター：120, rue de Lyon

開館時間

10:00～17:00

料金

一般11ユーロ、学生9ユーロ、10歳以下6ユーロ

メトロ

■1、5、8号線 BASTILLE

■ポンピドー・センター CENTRE GEORGES POMPIDOU



イギリス人のロジェとイタリア人のピアノによる設計。ポンピドー大統領提唱の「現代的芸術創造」をテーマに1977年に完成。1997年10月から1999年12月まで改修工事のため休館したが、2000年1月に再オープン。古い街並みと対照的なパイプとガラスの超前衛的な外観はそのまま。地下2階から地上5階まであり、地下には劇場、イベント会場、映画館、2、3階に図書館、4、5階に国立近代美術館、6階に特別ギャラリーとレストランがある。

オープン時間11:00～21:00(木曜日は23:00まで)

料金

一日券12ユーロ(割引シーズンは10ユーロ)。

メトロ

■11号線/RAMBUTEAU

■4号線/RER A線LES HALLES

■サン・ジェルマン・デ・プレ教会 EGLISE ST GERMAIN DES PRES



教会の歴史は古く、542年に修道院として建てられたのが始まり。戦争により破壊され何度も建て替えられた。現在の教会は11世紀のロマネスク様式と、その後の修復によりゴシック様式も混合する。高くそびえる鐘楼は、ロマネスク様式としてはパリ最古のもの。

オープン時間8:00-19:45 (日曜9:00~20:00)

年間無休日曜日のミサの時間は9:00、10:00、11:00、19:00~

メトロ

■4号線/SAINTE-GERMAIN DES PRES

■サクレ・クール寺院 BASILIQUE DU SACRE-COEUR



ロマネスク・ビザンチン様式の丸い聖堂が特徴の白亜の寺院。普仏戦争の敗北の後に建てられることになった「聖なる・心」という名の教会。鐘や資材の丘の上への運搬や地盤の補強など難工事の末、1914年に出来上がった。吹き抜けのドーム頂上からはパリ市街が見渡せる。年間無休。

オープン時間

寺院

6:00~22:30

ドーム、地下聖堂

9:00~17:45

メトロ

■2号線/ANVERS ■12号線/ABBESSES